

第2次豊岡市多文化共生推進プラン（素案）に対する意見の募集結果と回答について

1 意見募集(パブリックコメント)の実施状況

(1) 意見募集期間 2025年11月28日(金)～12月11日(木)

(2) 公表資料の閲覧方法

ア 市公式ホームページ

イ 市役所暮らし創造部多様性推進・ジェンダーギャップ対策課窓口

ウ 市役所各振興局地域振興課窓口

(3) 意見提出方法

ア 郵送

イ ファクス

ウ インターネットの意見提出フォーム

エ 窓口提出

2 意見を提出された人数と件数 1人(1件)

3 意見の概要と意見に対する市の考え方

No.	掲載箇所・内容	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	P15～21 主要手段 01-03「日本語を学ぶ機会が増えている」	<p>「日本語学習支援者を増やすための取組」について、「日本語学習支援者」とは具体的に誰を指すのか、定義が分かりづらく感じました。その下に「日本語ボランティアの育成」とあるため、別の層を想定しているのかと思いますが、そうであれば、たとえば日本語教育の専門家や日本語教師を指すのかどうか、明記があるとよいと思います。</p> <p>また、推進主体には、日本語教育を専門とする企業や団体も含めることを検討していただきたいです。</p> <p>主要手段 01～03 全体を通して、支援団体だけでなく、日本語教育の専門性を有する人材や組織がもっと主体的に関われる体制づくりが必要だと感じます。</p> <p>ボランティアに頼る体制から一歩進めていかないと、今後の多文化共生や地域に根ざした日本語教育の担い手を継続的に育てることが難しくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>「日本語学習支援者」は、コーディネーターや日本語教師と共に、日本語教育の現場にボランティアとして参加し、日本語学習を支援し促進する者とされていることから、「日本語学習ボランティア」を指しています。表記を統一し、事業も「日本語学習ボランティアを確保し、育成する取組を検討」と改めます。</p> <p>豊岡市の多文化共生の推進には、地域や学校、民間団体を含む各支援団体、企業の力が欠かせません。それぞれの特色や知見を活かした活動と連携し、協働していく体制づくりについても検討してまいります。</p>